



平成 29 年 4 月 27 日

各 位

会社名 澤田ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 上原 悦人
 (コード 8699 JASDAQ)
 問合せ先 取締役 三嶋 義明
 TEL 03-4560-0398(代表)

平成 29 年 3 月期業績と平成 28 年 3 月期業績との差異並びに 剰余金の配当に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績と前期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の業績との間に差異が生じました。また、剰余金の配当を平成 29 年 6 月 29 日開催予定の第 60 期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期の業績と平成 28 年 3 月期の業績との差異について (連結業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益
平成 29 年 3 月期の連結業績 (A)	46,374	5,764	6,843	5,591
平成 28 年 3 月期の連結業績 (B)	55,270	9,967	9,957	6,701
増減額 (C)=(A)-(B)	△8,896	△4,203	△3,113	△1,109
増減率 (%)	△16.1%	△42.2%	△31.3%	△16.6%

(個別業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 29 年 3 月期の個別業績 (A)	597	286	789	1,486
平成 28 年 3 月期の個別業績 (B)	491	238	316	2,879
増減額 (C)=(A)-(B)	105	48	473	△1,393
増減率 (%)	21.6%	20.2%	149.6%	△48.4%

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績は、銀行関連事業はモンゴルの現地通貨トゥグルグ安（円高）によるマイナスの影響や、為替ヘッジを目的とするスワップ取引における評価損の計上等により減益となりました。また、証券関連事業の減益や、株式会社アスコットの株式の一部売却に伴い不動産関連事業が当連結会計年度より連結の範囲から除外された影響もあり、結果として、当連結会計年度の営業収益は 463 億 74 百万円（前連結会計年度比 88 億 96 百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は 55 億 91 百万円（前連結会計年度比 11 億 9 百万円減）となりました。

個別業績につきましては、関係会社株式売却益が前連結会計年度比で減少した影響により、当期純利益は 14 億 86 百万円（前連結会計年度比 13 億 93 百万円減）となりました。

2. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (平成 28 年 3 月期)
基準日	平成 29 年 3 月 31 日	同左	平成 28 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	10 円 00 銭	未定	10 円 00 銭
配当金総額	396 百万円	—	396 百万円
効力発生日	平成 29 年 6 月 30 日	—	平成 28 年 6 月 29 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社は、業績に対応した利益還元を行うことを基本方針としておりますが、今後の事業展開と経営体質の強化、財務内容の充実を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していく方針であります。

当期の配当につきましては、財務内容及び連結業績等を勘案し、1 株当たり 10 円の配当（前期と同じ）を平成 29 年 6 月 29 日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

なお、次期（平成 30 年 3 月期）の配当につきましては、当社の主たる事業である証券業は市場環境の変動の影響を大きく受ける状況にあり、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、予想配当額を開示しておりません。

以 上